

平成29年度 南海少年寮 子どもサポート委員会（第三者委員会）報告

平成30年 3月30日 開催分

1. 今年度の現状報告

キャッチボール箱の内容の確認、外部からの苦情はなかった事の報告。保護者で一人クレマーのような保護者がいて苦情とはとれないが計測できないほど電話対応があったことの説明をする。

① 件数（平成30年3月30日現在）

意見等の形態	対応不可	全体対応	個別対応	CSC 対応	外部対応	総数
キャッチボール箱	13	21	11			45
児童から直接						
保護者等	計測不能					
外部						
合計	13	22	11			45

② 概要説明及び事例説明

キャッチボール箱の内容については落書きに近いものがほとんどで、同じ子どもが何通も書いているものがほとんどであった。また苦情といえる内容はなく、要望が少しあったが施設内での対応であったことを説明する。また保護者についてはその都度対応していたが無茶な要求や対応を求められることが多く、児相や外部とともに困らされていることの説明をする。

③ 不適切な関わりの事例の県からの聴き取りを受けて対応中であることの報告

今年度施設内で不適切な関わりの事例が発生し、県からの全児童、全職員への聴き取りがあったこととその中で再聴き取りになり現在対応中であること。その途中経過の説明をする。今後対応するなかで第3者委員会にも入っていただくことの検討もしていることの説明をする。

④ その他

なし